

これからのデジタル決済の体験を確かなものに

2030年までに決済の世界にどのようなイノベーションがもたらされるのでしょうか

http://www.infineon.com/



目次

本パンフレットでは、2030年までに決済の世界を形作るイノベーションと課題について、以下のような内容で掘り下げます。

持続可能な決済
消費者は、より持続可能な決済に対して、どのような期待を抱いているのでしょうか 04
どのような持続可能な代替手段を使えば、決済をより環境に配慮したものにできるのでしょうか 07

生体認証決済
生体認証決済カードを提供する理由 08
銀行やフィンテック企業はどのようにして生体認証カードを安全に消費者の手に届けられるのでしょうか 10

スマート ウェアラブル機器およびスマート決済アクセサリー
何がウェアラブル端末を、「あれば便利」なものから、付加価値のあるものへと変化させるのでしょうか 12

モノのインターネット (IoT)
デジタル決済はどのように消費者の利便性を加速させるのでしょうか 14
新たなデジタル決済を保護する方法 15

デジタル通貨
CBDCは現金とカードを補完するのでしょうか 16

インフィニオンは、なぜ安全性が高く、便利な決済体験を実現する企業として、世界中で信頼されているのでしょうか 18

どの決済セキュリティ製品が、お客様とお客様の顧客に最適でしょうか 20

インフィニオンがもたらす決済の未来にようこそ

技術革新にともない消費者トレンドは変化します。このエキサイティングな旅にぜひご参加ください。

ここ数年、モバイルやウェアラブル端末など、新しい決済デバイスが目覚ましい勢いで普及しています。同時に、消費者は生体認証に慣れ親しみ、より持続可能な世界を求めています。

当然、銀行やフィンテック企業は消費者の期待に適うだけでなく、それを上回るような差別化を模索しています。プレミアムメタルカードや、カード使用時にLEDが光るデザインなど、さまざまなカードの種類を提供する企業もあります。今後、銀行やフィンテック企業は、より持続可能なカードを提供するオプションや、生体認証を利用した利便性の高いサービスを提供することで、消費者にもっと多くの選択肢を提供したいと考えることでしょう。消費者はライフスタイルに合わせたスムーズな各種決済ソリューションを求めているので、この点は顧客のロイヤリティを確保する上できわめて重要です。

常に変化する顧客の要求、規制、詐欺リスクなど、克服すべき課題はありますが、決済の未来には、とても多くの期待が寄せられています。

5年後は、電気自動車の充電時に、車から降りたり、財布を取り出したりせずに決済できるかもしれません。また、オンラインショップや店頭で商品やサービスを購入する際、新しいデジタル通貨で支払うかもしれません。

最適な便利さや安全性はきわめて重要ですが、ユーザーの選択肢や経済活動に必要な金融サービスを利用できるようにすることが不可欠です。目標は、安全性が高く、便利なオムニチャネル決済体験を実現することです。 これには物理的なものや、デジタル、組み込みというオプションがあり、消費者の選択肢を技術革新の最前線に置き、新しい使用事例、ビジネスモデル、フォームファクターを実現します。

その方法は？ 共に進みましょう…インフィニオンと！さあ、ご覧ください

持続可能な決済

消費者は、より持続可能な決済に対してどのような期待を抱いているのでしょうか

Visaが委託した調査によると、消費者が最も懸念していることのトップ3に「気候変動」が挙げられています。また、クレディ・スイスは、消費者の90%が全体環境の状態について懸念または強い懸念を抱いていることを明らかにしました。私たちは、決済業界も含め、それぞれが役割を果たして、グリーン移行を推進しなければなりません。

環境にやさしい素材に対しては、明らかに市場ニーズがあります (使用素材の大半はリサイクルPVCとPETGです)。特に物理的な支払いカードに関してはそうです。環境にやさしい素材の急成長が予想されており、リサイクルPVCの出荷量は2022年の3億5000万トンから、2026年には8億5000万トンに増加すると見込まれています。2022年には、ヨーロッパで出荷されたカードの30%が環境にやさしい素材で製造され、ヨーロッパが「エコカード配送」の最大地域となる一方、2028年には、決済市場全体の約50%がリサイクル素材をベースとするようになると予測されています (出典: ABIリサーチ2023年)。また、リサイクル廃棄物から作られたリサイクルPETGカードの製造数も増加し、2022年の4500万枚から2026年には6500万枚に増加する見通しです。PETGは、既存のリサイクルインフラを活用できることから、より持続可能なカード素材として大きく期待されています。より持続可能な決済カードを消費者に提供できることは、プレミアムサービスの一環として提供できる可能性もあり、より環境に配慮した選択肢を求めるこの需要に応えることにつながります。

グリーンエネルギー利用の最適化 - なぜ持続可能性がインフィニオンにとって重要なのでしょうか

インフィニオンは、世界で最も持続可能な企業の1つにランクされています。2021年には、二酸化炭素排出量を削減し、CO2排出削減量1億1300万トンという純粋な生態学的利益をもたらしました。「少ないものから、より多くを生み出す」のは、今日の課題の解決、より良い未来の創造を積極的に支援するインフィニオンの姿勢です。持続可能性は、適切なパートナー選びから始まります。パワー半導体のマーケットリーダーであるインフィニオンは、電気エネルギーのチェーン全体において、輸送、産業、通信など、現在および将来にわたり、エネルギー効率の最適化を実現します。





持続可能な決済

どのような持続可能な代替手段が決済をより環境に配慮したものにできるのでしょうか

インフィニオンの技術革新は、薄く、耐久性が高く、環境に優しく、長持ちするカードの製造を可能にしています。例えば、インフィニオンが世界最薄のデュアルインターフェースモジュールを開発したことにより、重さを70%、厚みを50%削減したカードが実現しました。こうした傾向は今後も続き、次世代カードはより持続可能な素材を使用して製造されることでしょう。インフィニオンの技術および耐久性に優れたTEGRION™セキュリティコントローラーにより、カードの長期間使用が可能となり、新しいカードの製造頻度を減らせるかもしれません。

インフィニオンの技術革新は、薄く、耐久性が高く、環境に優しく、長持ちするカードの製造を可能にしています。例えば、インフィニオンが世界最薄のデュアルインターフェースモジュールを開発したことにより、重さを70%、厚みを50%削減したカードが実現しました。こうした傾向は今後も続き、次世代カードはより持続可能な素材を使用して製造されることでしょう。インフィニオンの技術および耐久性に優れたTEGRION™セキュリティコントローラーにより、カードの長期間使用が可能となり、新しいカードの製造頻度を減らせるかもしれません。

アンテナインレイを必要としない新しいカードシステム設計を採用することで、真に持続可能で、完全にリサイクル可能な素材を使用できるようになります。また、そのような素材は現地で調達・生産できます。これにより、銅線アンテナ用の銅をはじめ、必要なエネルギーや素材の量を大幅に削減でき、鉱業や輸送に関連する二酸化炭素排出量も減少します。

誘導結合とその利点とは

インフィニオンのCoil on Moduleデュアルインターフェース チップ パッケージ技術は、カードのアンテナとチップモジュール間の接続に、従来の機械的な電気接続ではなく、無線周波数リンクを使用しています。誘導結合として知られるこの方法によって、機械的ストレスが取り除かれるため、カードの設計が簡素化されると同時に、カードの堅牢性と長期信頼性が向上します。

生体認証決済

生体認証決済カードを提供する理由

近年、世界の決済動向は明らかに非接触型決済へと移行しています。今日の消費者は、支払い体験が便利で安全であるべきだと考えています。銀行やフィンテック企業にとっては、2要素認証を利用して、より便利な決済体験を提供する方法が課題になります。

生体認証機能付きのスマートカードは、顧客が望む便利で、画期的で、個々のニーズに合わせた決済体験を実現するのに役立ちます。私たちは、日常的に生体認証を使用しています。スマートフォンの指紋認証で支払いをしたり、機器のロックを解除したりしています。生体認証機能付きのスマートカードを使えば、ポケットに入れた銀行カードだけで支払い取引を認証できます。消費者にとって非常に便利な機能です。その次のステップは、銀行がこうしたカードを消費者に大量に配布し、外見上の価値以上のものを提供するカードが、ウォレットとしての高い地位を確立できるようにすることです。

決済カードの指紋認証ソリューションの利点

利便性
生体2要素認証

プライバシー
セキュリティコントローラー内でのみ指紋データを処理

データ保護
生体認証情報が、バックグラウンドではなく、カード内に存在

衛生的
POS端末でのタッチレス操作

高速
PINに替わる生体2要素認証

安心
2要素認証

すぐに使用可能
インフラのアップグレードが不要

消費者の関心
消費者の77%が生体認証の利用に満足

出典: Payments Cards & Mobile



生体認証決済カードで消費者の利便性が向上

決済カードは、いまなおカード発行者と顧客の間において、最も一般的で重要な物理的な接点です。世界中で流通している決済カードは、今後も増加し続けると予測されており、Nilson Report (ニルソン レポート) は2022年末の258億枚から、2028年12月までに299億9000万枚に達するとしています。

生体認証カードでは、モバイル決済とほぼ同様の認証体験が得られ、PINの代わりに生体認証による2要素認証を利用できます。消費者も生体認証に慣れており、調査結果によると回答者の88%が、カードが生体認証対応の非接触決済カードになることを望んでいます。

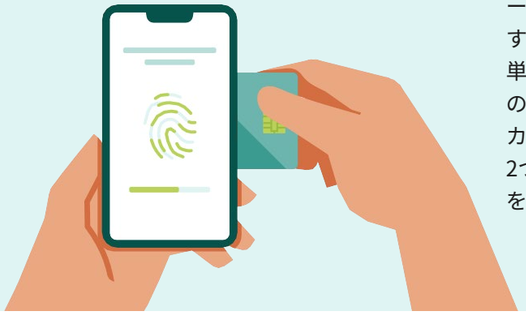
生体認証決済

どのようにすれば、銀行は安全に生体認証カードを消費者の手に届けられるのでしょうか

インフィニオンは、生体認証センサーカードを実現する、事前認証済みのオールインワン モジュールソリューションを提供する唯一の企業です。このソリューションは、容易に統合ができる誘導結合技術（Biometric Coil on Module）を基盤としており、カードの部品表 (BOM) と複雑さを低減します。これにより、拡張性とコスト効率に優れた方法で、高品質、堅牢、かつ歩留まりの高い生体認証カードを生産できるようになります。この技術により、カード製造の手間が軽減され、短期間で市場投入ができるため、銀行は決済カードをさらに多くの消費者に迅速に届けられるようになります。事前認証済みの決済ソリューションにより、カードメーカーは2〜3週間で承認が得られます。

しかし、消費者は生体認証カードの登録が簡単で手間がかからないものでなければ、使用しないでしょう。そのため、インフィニオンと業界パートナーは、カードに生体認証を登録するのに3つの方法を展開しています。

スマートフォンでの指紋登録



NFC対応のスマートフォンのモバイルアプリケーションを使用して、生体情報をカードに登録することができます。このプロセスをさらに簡単に実行できるように、インフィニオンは独自の登録シートを提供しています。登録シートにカードとスマートフォンを並べて置くだけで、2つの機器が接続され、手間なく生体認証登録を行えます。

フィールド指紋登録

店頭での登録では、消費者は普段の買い物中に生体認証登録を行うことになります。ユーザーがPOSで指紋認証を行うたびに、カードにリンクされた生体情報が確認されます。取引が一定回数に達すると、カードは自動的にこの指紋情報を登録します。



カードスリーブによる指紋登録

カードと共に提供される専用機器で登録します。ユーザーはカードをスリーブに挿入し、カードセンサーに指を置くだけで、自宅にいながら生体認証が可能です。



ご希望に合わせて、これらの登録オプションは、対面での手続きをご希望の方のために、支店でもご利用いただけます。

QRコードをスキャンして、登録オプションについて詳しくご覧ください

スマート ウェアラブル機器およびスマート決済アクセサリー

何がウェアラブル端末を「あれば便利」なものから、付加価値のある決済へと変化させるのでしょうか



近年、ウェアラブルデバイスの利用が加速しており、商品やサービスへの支払いを、財布を取り出さずに素早く簡単に行う方法を提供しています。ウェアラブルデバイスの決済機能は、エンドユーザーが決済のトークン化を行うことで利用できるようになり、取引はスマートフォンのアプリで追跡できます。

OEM各社は、これからも指輪やブレスレットなど日常的に身に着けるものを、決済に使えるコネクテッドデバイスにする方法を模索し続けることでしょう。

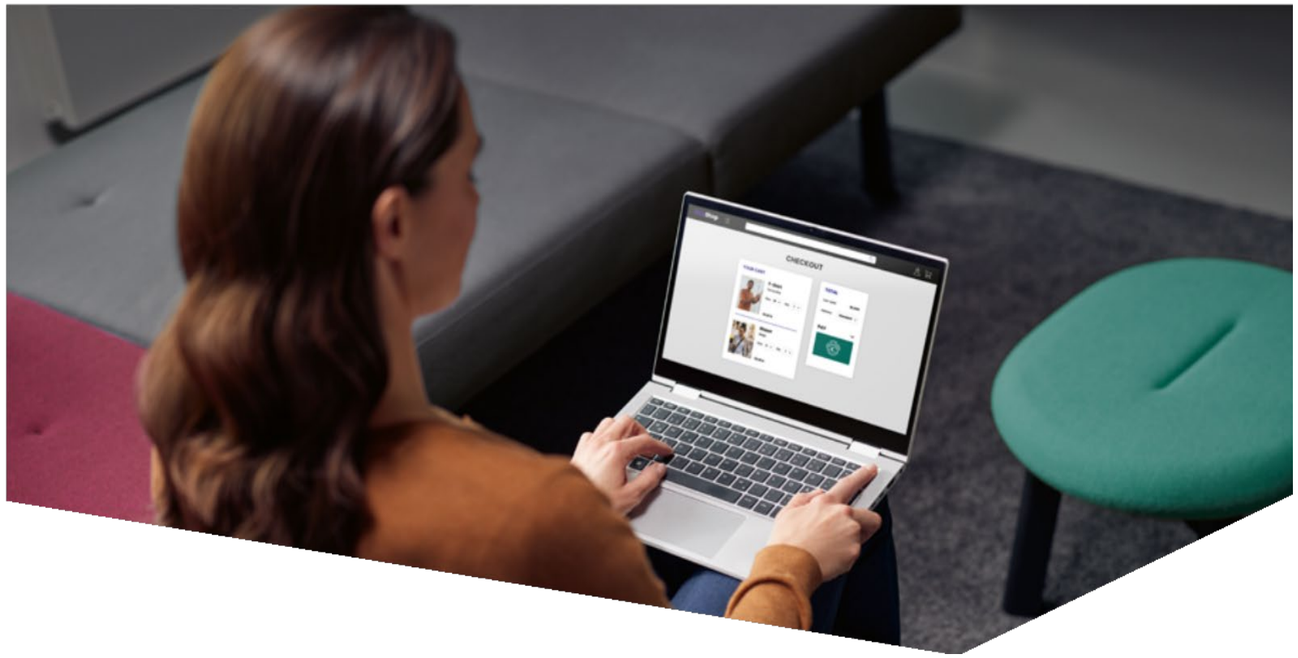
これは、フィットネス追跡やテキスト機能など、多機能なスマートウォッチを始めとする、スマート バッテリー駆動のアクティブウェアラブルに続くものです。

インフィニオンは、超小型アンテナを搭載し、決済機能とNFC無線充電機能を組み合わせた小型のパッシブウェアラブル機器向けに独自の設計アプローチを開発しました。

スマートウェアラブルの登場により、支払い方法の選択肢がさらに広がりました。ウェアラブル端末には、スマートフォンよりも便利な決済方法の選択肢があります。例えば、指輪は身に着けることができ、究極の利便性を求める人にとっては良い選択肢となります。OEMはさらに幅広い選択肢を提供することで、消費者に真の付加価値を提供できます。より多機能な端末を提供することにより、日常生活にシームレスな決済機能と選択肢を組み込むことができます。

決済や配送、アクセス機能だけでなくさらなる高機能化が可能に

超広帯域無線 (UWB: Ultra-Wideband) のような新しいワイヤレスを用いることで、さらに正確な位置範囲の精度が得られるため、ウェアラブル端末はますます便利な旅行体験をもたらすでしょう。これにより、安全、非接触、ハンズフリーな体験が実現します。一例を挙げると、交通機関の改札口に到着した旅行者を認識し、その旅行者の支払い方法を特定して支払い認証を行うことで、旅行者は自分の端末を物理的に提示することなく旅行を続けることができます。



モノのインターネット (IoT)

デジタル決済はどのように消費者の利便性を加速させるのでしょうか

世界的に、消費者があらゆる場所でオンラインの遠隔取引をすることが増えており、デジタル決済は急増しています。EUでは、デジタル決済の市場シェアはすでに60%に達しており、今後も増加の一途をたどるでしょう。2027年までには、新たなデジタル決済手段が世界の決済総額の約30%を占めるようになります。

決済カードを、ウェアラブル端末、ノートパソコン、ゲーム機など、さまざまな機器やアクセサリーに搭載してデジタル化することは、対面、オンライン、アプリ内での支払い体験のいずれにおいても利便性を高め、支払いへの障壁を低減するうえでの優先事項となってきました。もちろん、こうした便利なデジタル決済を可能にするには、セキュリティおよび接続性が鍵です。

この先、消費者の行動が変化するにつれ、決済手段の形もさらに多様化していくでしょう。例えば、電気自動車が増加していけば、充電用に停車することが増えますが、充電中に車から離れなくてもよいように、車内での決済機能が求められるようになります。車両は、有料道路の利用料金や駐車料金、充電料金の支払いなど、複数の取引のための決済デバイスとして利用されるようになり、究極の利便性が実現し、より新しく、よりスマートで、より環境にやさしい自動車の普及が進むことでしょう。

ますます多くのデバイスを使った決済が行われる傾向が見られると、これまで決済セキュリティについて考慮する必要のなかった業界も、利便性とセキュリティの確保を検証しなければならなくなります。そうしなければ、ライバルに市場を奪われるリスクに直面します。このバランスを達成するのに役立つワンストップショップのテクノロジーパートナーと協力することが重要となります。

新たなデジタル決済を保護する方法

スマートウェアラブル、ノートパソコン/タブレット、ゲーム機、車内決済の共通点は何でしょう？ 高いレベルのセキュリティが必要なことです。 あらゆるデバイスが決済デバイスとなり得るのであれば、潜在的な詐欺や不正行為から保護する利便性を損なわないようにするには、多層的なセキュリティが不可欠です。

セキュアエレメント

デバイスによっては、セキュアエレメント (SE) が用いられることがあります。SEは、あらゆるデバイスで使用できる、支払いアプリケーションに必要な機密データを保存するセキュアな支払いチップです。SEは、多数のインターフェースを通じてデジタル接続を行うハブとしても機能します。インフィニオンのSEは、情報およびデバイスの機密性、完全性、真正性を保護するセキュアなストレージと改ざん検知機能を備えています。これにより、ソースレベルで高度なセキュリティが実現します。

トークン化

決済のトークン化は、決済処理に不慣れな業界やOEMにとって、今後数年間で重要なリューションとなることでしょう。 デバイスでの決済を可能にするにはトークン化が必要であり、機密性の高いカード情報 (PAN: Primary Account Number) を代替データまたは「トークン」に置き換えることで、顧客の決済情報をデバイス上で暗号化するのに役立ちます。こうしたトークンは、元のデータを保持することなく、将来のためにシステムに安全に保存することができます。

CDCVM*

インフィニオンはまた、IoTデバイスとクラウドベースの決済の間に生体認証方式を導入することで、カード保有者がパスコードまたは生体認証方式を使用してデバイス上で取引を認証することを義務付け、さらなるセキュリティを提供しています。これにより、セキュリティを損なうことなく、ユーザー体験を可能な限り円滑かつ便利にすることができます。

* Consumer Device Cardholder Verification Method

デジタルウォレットの登場

デジタルウォレットは、2020年代の終わりまでに大幅に普及し、年齢証明の提示から医療サービスへのアクセス、支払いまで、さまざまなタスクを実行するために検証済みのデジタルIDを使用できるようになるでしょう。ジュニパーリサーチ社の予測では、デジタルウォレットのユーザー数は2026年に世界で52億人を超えると見込まれており、2022年には53%以上という大幅な成長を遂げることになります。デバイス内のデジタルウォレットからさらに多くの決済が行われるようになると、認証方法も変化します。例えば、パスワードを必要としない代替のサインイン認証であるFIDOパスキーを使用してユーザーの身元を認証するケースが増えて、ウェブサイトやアプリ上でより便利でパスワード不要の認証体験が可能になっています。これらのパスキーはクラウドではなくSEに保存されなければなりません。これにより、機密性の高いユーザーデータが保護されているという安心感を提供するのに必要なセキュリティレベルを確保でき、詐欺率が継続的に上昇しているカード提示のない支払い取引からOEMを保護できます。

デジタル通貨

CBDCは現金とカードを補完するのでしょうか

中央銀行デジタル通貨

近年、暗号通貨とステーブルコインがそれぞれ盛り上がりを見せたり失速したりする中、各国政府は中央銀行の金融当局としての権限を維持し、国民に信頼性の高い代替決済手段を提供する方法として、中央銀行デジタル通貨 (CBDC) の研究に乗り出しました。CBDCは、各国の中央銀行が現金と並行して発行できるデジタル通貨だと考えてください。

EU市民向けのEUDI (EUデジタルIDウォレット) など、現在検討されているさまざまな技術は、市民のスマートフォンに保存され、CBDCのオフライン利用を可能にするもので、どこにいても消費者はデジタルマネーを使えるようになります。このオフライン機能は、強靭性と金融包摂を促進するのに不可欠です。

中央銀行デジタル通貨 (CBDC) で支払う際に使用される形式を問わず (スマートフォン、ウェアラブル端末、スマートカードなど)、オフラインでの利用を保護することは、中央銀行にとって重要であり、また、各パイロットプロジェクトやその後の展開における信頼確保にもつながります。

保護と強靭性を高めるための選択肢のひとつに、ハードウェアベースのセキュリティが検討されています。これには、決済デバイスやスマートカード上の安全な領域に、個人データや金融情報を保存できるようにするセキュアエレメントなど、既存のソリューションが含まれます。eSIMをベースとしたソリューションは、ハードウェアベースのセキュリティオプションの1つとして、モバイルデバイスやIoTデバイスに組み込まれてCBDCを保護し、悪意ある人たちが機密情報にアクセスし、抽出するリスクを低減します。

人気の高まり: 全世界でのCBDCパイロットプロジェクト

大西洋評議会 (Atlantic Council) のCBDCトラッカーの調査によると、世界のGDPの98%に相当する、130カ国以上がCBDCの導入を検討しています。例えば、2024年初頭、欧州中央銀行はデジタルユーロCBDCの発行に関連する部品やサービスの潜在的なサプライヤーに対して、枠組み協定を締結するための申請書の提出を呼びかけ始めました。

その一環として、中央銀行は、ネットワーク接続に頼らずに、増加する詐欺行為から国家経済を守る堅牢で、弾力性のあるシステムを構築する重要性を理解しなければなりません。



成長を可能にするイノベーション

インフィニオンは、なぜ安全性が高く、便利な決済体験を実現する企業として、世界中で信頼されているのでしょうか

インフィニオンは革新を意味し、革新はビジネスが成長する機会を意味します。最近インフィニオンが実現したイノベーションをいくつかご紹介します。このようなイノベーションは、世界規模で決済サービスの拡大と保護に役立っています。

SOLID FLASH™

将来を見据えたメモリーコンセプトは、サプライチェーンの柔軟性を求める声に対応しています。スマートな設計により、カード製造時にソフトウェアを読み込むことができ、市場投入までの時間を50%以上短縮します。

Coil on Module

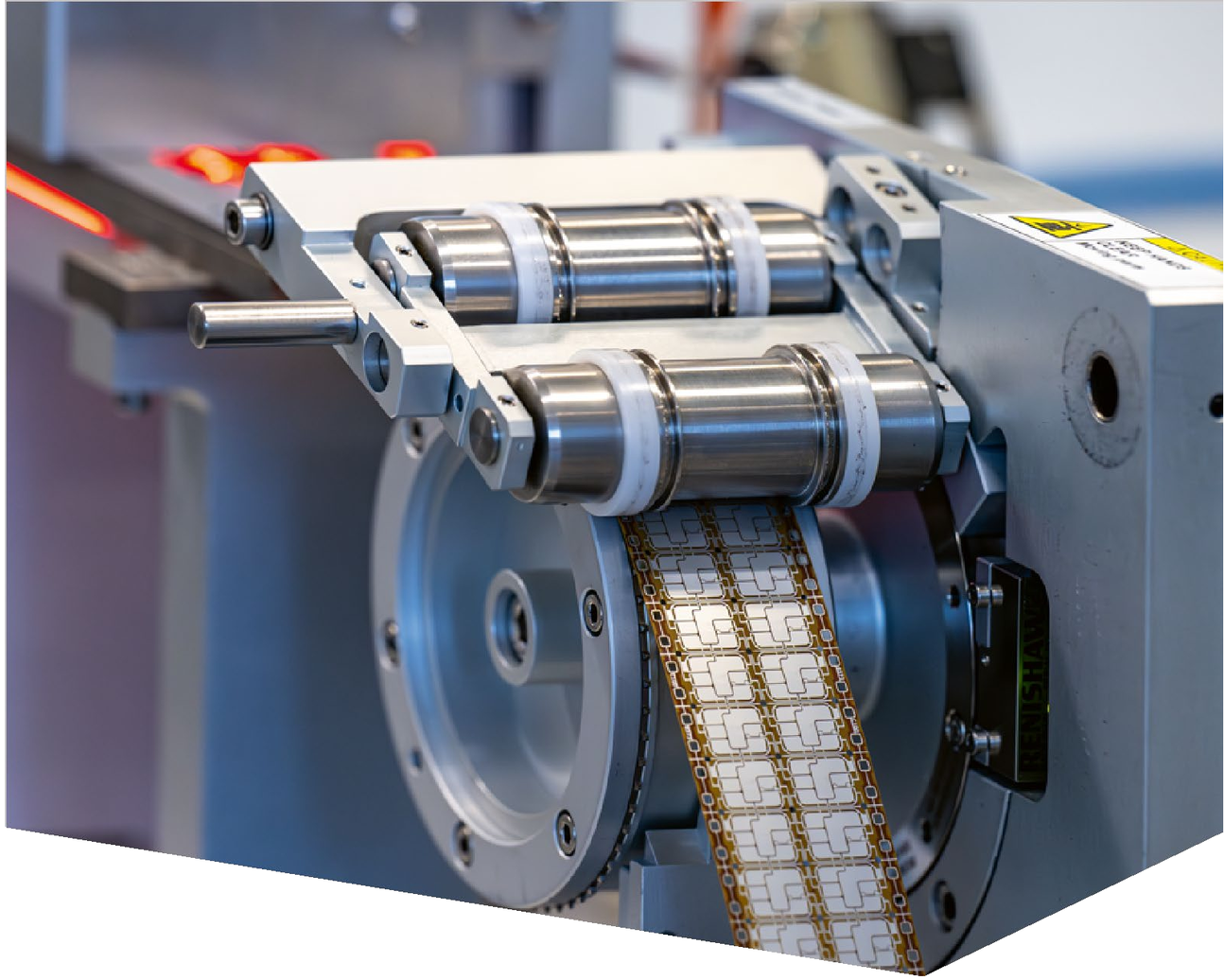
Coil on Module (CoM) 技術は、接触型から非接触型を可能にするデュアルインターフェース方式への移行を簡素化します。

Integrity Guard 32

Integrity Guard 32 は、性能と信頼性を失うことなく、高いレベルのセキュリティを実現します。本ソリューションは、包括的なアプローチを採用し、システムの処理コア、オンチップメモリ、バス、キャッシュ、暗号アクセラレーター、周辺機器インターフェースを、包括的なセキュリティアーキテクチャに統合します。

Biometric Coil on Module

The Biometric Coil on Module (BCoM) ソリューションは、誘導結合技術を用いた小型パッケージに、セキュア エレメントおよび生体認証センサーを統合しています。これにより堅牢性、長期信頼性が大幅に改善しました。



TEGRION™

TEGRION™ セキュリティ コントローラーは、ハードウェア セキュリティ、効率、性能、実装の容易さを同時に提供します。こうした高レベルのセキュリティは、製品寿命を延ばすことにもなり、カードが消費者の財布に長期間にわたり入っていることになります。

インフィニオンは、最新の28nmペイメント製品のラインアップの一部として、TEGRION™セキュリティコントローラーをサポートし、今後もセキュリティを強化していきます。

詳細はこちら

Coil on Module

Integrity Guard

BCoM

TEGRION™

インフィニオンの決済セキュリティ ソリューション

どの決済セキュリティ製品がお客様とお客さまの顧客に最適でしょうか

デジタル化により、私たちの生活はより便利で快適なものになっています。その一方で、IDや個人情報を保護する必要性も高まっています。インフィニオンのスマート決済カード向けセキュリティソリューションは、お客様とお客様の顧客の機密データと決済を保護し、安心を提供します。

SECORA™ Pay Bio

SECORA™ Pay Bioは、事前認証されたMastercard®およびVisa®アプレットが付属し、機能認証を追加で受ける必要がない、生体認証決済カードアプリケーション用のオールインワンソリューションです。超小型チップに最高クラスの非接触性能と先進的な指紋センサー技術を搭載しています。そのため、カードメーカーは生体認証機能付きの決済カードの製造を簡素化し、標準化できます。また、カード保有者にとっては、追加の認証オプションにより、さらにスムーズな決済体験が得られます。

SECORA™ Pay

SECORA™ Payは、インフィニオンのソリューションファミリー製品の１つで、非接触決済機能を搭載しています。SECORA™ Pay製品は、Coil on Module (CoM) チップに、認証済みのソフトウェアを搭載したセキュリティ コントローラーを使用しています。これにより、セキュリティを損なうことなく、より簡単に、より短期間でカードを製造し、より迅速に非接触決済を行うことができるようになります。

SECORA™ Connect

SECORA™ Connectは、スマート ウェアラブル機器、ラップトップの決済ウォレット、車内決済など、NFC (近距離無線通信) を使った非接触型セキュア決済や交通機関のチケット購入ができるように設計されています。これにより、ほぼあらゆるデバイスに安全に非接触型決済機能を搭載できるようになり、消費者にとっては選択肢が無限に広がり、究極の利便性がもたらされます。

インフィニオン概要



世界的な決済市場のリーダー

ABI Research社によると、インフィニオンは過去７年にわたり、市場シェア第1位の座を維持しています。

28 nm

インフィニオンの決済チップのプロセスノードのサイズで、信頼性、性能、コストのバランスに優れています。

43%

決済チップの世界市場シェア: ほぼ半数のカードにインフィニオンの決済チップが搭載されています。

出典: ABI Research “Payment and Banking card Secure IC Technologies”, 2024 QTR 1

-100%

インフィニオンはCO2削減目標を、2025年までにー70%、2030年までにー100%と定めています。

出典: Infineon Sustainability Report, RE100 Renewable Energy 100

BSI認証20件以上

承認されたEAL6+製品の数で、インフィニオンはトップクラスにランクインしています。

出典: BSI (**B**undesamt für **S**icherheit in der **I**nformationstechnik) Federal Office for Information Security

さらなる一歩へ

今後インフィニオンと決済業界は、どのように共に前進して行くのでしょうか

嗜好の変化や、日常生活に新たな価値をもたらす新しい使用事例が現れるとともに、行動、傾向、技術、規制は急速に進化していきます。

当然ながら、量子コンピューティングの登場は依然として未知数です。その時期を予測できる人はいませんが、悪意のある人たちに複雑な暗号化アルゴリズムを破る機会や、機密情報を解読する機会を与えかねないため、金融取引のセキュリティを脅かすものとして、決済のあり方に大きな影響を与えることと思われます。

幸いにも、業界はすでに「ポスト量子暗号 (PQC)」という代替策を用意しており、決済取引を保護するのに十分な強度を備えています。

インフィニオンは、革新者、またグローバルセキュリティリーダーとして、自社の技術がお客様とお客様の顧客を、長期間にわたり安全に保てるように、研究開発費として数百万ドルを投資し続けています。



購入に関して

インフィニオンの販売拠点または販売パートナーまでお問い合わせください:
www.infineon.com/WhereToBuy

サービス ホットライン

インフィニオンはフリーダイヤルの0800/4001サービス ホットラインを代表番号として提供しており
英語、中国語、ドイツ語で24時間利用可能です。

- ドイツ 0800-951-951-951 (ドイツ語/英語)
- 中国本土 4001-200-951 (北京語/英語)
- インド 000-800-4402-951 (英語)
- 米国 1-866-951-9519 (英語/ドイツ語)
- その他の国 00*-800-951-951951 (英語/ドイツ語)
- ダイレクトアクセス +49-89-234-0 (相互接続料金、ドイツ語／英語)

*ご注意: 一部の国から上記国際電話番号にアクセスする際「00」以外のコードをダイヤルする必要があります。
詳細は www.infineon.com/serviceをご覧ください。

モバイル製品カタログ
iOS/Android用モバイル アプリ

www.infineon.com/jp

発行元:
インフィニオン テクノロジーズ
ジャパン株式会社

© 2024 Infineon Technologies AG. All rights reserved.

Public

Version: V1.0_JA
Date: 11 / 2024

Please note!
This document is for information purposes only and any information given herein shall in no event be regarded as a warranty, guarantee or description of any functionality, conditions and/or quality of our products or any suitability for a particular purpose. With regard to the technical specifications of our products, we kindly ask you to refer to the relevant product data sheets provided by us. Our customers and their technical departments are required to evaluate the suitability of our products for the intended application.

We reserve the right to change this document and/or the information given herein at any time.

Additional information
For further information on technologies, our products, the application of our products, delivery terms and conditions and/or prices, please contact your nearest Infineon Technologies office (www.infineon.com).

Warnings
Due to technical requirements, our products may contain dangerous substances. For information on the types in question, please contact your nearest Infineon Technologies office.

Except as otherwise explicitly approved by us in a written document signed by authorized representatives of Infineon Technologies, our products may not be used in any life- endangering applications, including but not limited to medical, nuclear, military, life-critical or any other applications where a failure of the product or any consequences of the use thereof can result in personal injury.